



うえの事務所通信 VOL.38 R7.4.11

大分暖かくなってきましたね。上野は相変わらず花粉で苦しんでおります。外での花見は体に負担がかかるため、「車内から花見ができないものか」と考え、多々良沼に行ってみました。多々良沼は湖畔を車で一周できるうえ、湖畔には桜並木があるため、ドライブしながら花見を楽しむことができます。花粉症で外出がづらいけれど花見を楽しみたい方は是非多々良沼でのドライブ花見をおすすめします！

ハラスメントの「神話」を検証する

先日、館林市議会にてハラスメントに関する講義を行ってまいりました。ハラスメントに関する“神話”の一つに、「密室で二人きりで叱るのはハラスメントである」というものがあります。皆様もそのようなイメージをお持ちかもしれません。しかし、実際には、人のいる場で叱る方が、ハラスメントと認定されやすいのです。というのも、人前で叱ると、失敗や注意された内容が周囲に筒抜けになってしまうため、本人の名誉や尊厳を著しく傷つける可能性があるからです。厚労省の「NO パワハラ」という冊子でも、精神的な攻撃の代表例として「同僚の目の前で叱責されること」が挙げられています。「最近の若い人は～」という表現はオジサンっぽく聞こえるかもしれませんが、実際に叱られない教育のもとで育った方が多く、自尊心が高い傾向にあります。そのため、大勢の前で叱責されることに対して強い抵抗感を持つ方も少なくありません。ですから叱る場合には、可能であれば個室で行うのが望ましいです。また、叱る際に自分が座って相手立っていると、どうしても上司側が威圧的に見えてしまうので、お互い座った状態で叱るのが望ましいでしょう。このように、ひとつ叱るのにも色々と気を付けるべき点が多く、上司の立場の方が精神的に参ってしまうという話もよく耳にします。しかし、今の若者たちが上司になる頃にはさらに気を遣う必要のある社会になっているかもしれません。時計の針を元に戻すことはできないので上司の立場の方は今の規範の下でなんとかやっていくしかないのだと思います。

・・・ひとりごと・・・

事務員 A・F



足利市を流れる渡良瀬川にはいくつか橋が架かっていますが、その中に「中橋」という橋があります。3連アーチが目印の美しい橋です。

架橋されたのは昭和11年と古く、また、歩道が狭いことや通勤時間帯を中心に渋滞が発生していること、なにより中橋が架かっている箇所の堤防が低く氾濫の恐れがあることなどから、長い間架け替えについて検討がされていたところ、ついに架け替えが決定し、昨年10月から架け替え工事が始まりました。新しい中橋が開通するのは令和10年4月の予定です。

中橋架け替えの話を聞いたときに、長年足利の風景として親しんできた中橋が取り壊されてしまうのは残念だなと思っていたのですが、新しい橋を架けるだけでなく今ある中橋は歩行者・自転車専用の橋として再利用することも決まったと聞き、嬉しく思いました。

今ある中橋の移設工事は1月下旬から2月下旬にかけて行われました。移設の場所は、もともとあった場所から東側に10メートルほど下流です。

3連アーチを3つに分割し、北側、南側、中央の順に超大型クレーンで吊り上げて移動するという方法で移設したそうで、県内外からたくさんの方が見学に来られたと聞きました。

移設後の中橋は今年の5月くらいには通れるようになるそうなので、開通したら早速渡ってみようと思っています。



裏面にセミナーのお知らせがございます➡